

特殊入浴装置 仕様書

1 物品名及び数量

- ① 置型小型介護浴槽（新湯タイプ）・・・1台

2 仕様（以下の条件を満たすこと）

- ① 置型小型介護浴槽（新湯タイプ）

- ・入浴者の脚上げを不要とした製品設計であること。
- ・2m 四方の浴室からでも設置できるように、全長 1,300mm、全幅 900mm 以内であること。
- ・掘り込み工事を必要としない据置型であること。
- ・自立入浴と車いす入浴の両方に対応できること。
- ・浴槽側面は、自立入浴者と車椅子入浴者の双方が進入しやすいように大きく開口していること。
- ・開口部のフタの役割を果たす大型扉は、コンパクトな浴室でも車椅子の足元に接触しないように緩やかなカーブを描き、足元のスペースを確保していること。
- ・停電時でも大型扉のロックを解除できる機能を有すること。
- ・浴槽内の手すりは、入浴者の安定を図るとともに、給湯口に手などを近づけさせないための工夫がされていること。
- ・浴槽形状は、貯湯タンクに十分な容量を確保しつつ、タンクに向かって緩やかな傾斜を設けることで、圧迫感を軽減する工夫がなされていること。
- ・介助者の操作性にも考慮し、操作スイッチを一か所に集約し、操作しやすい高さや角度を設け、操作パネルの視認性と操作性の向上に配慮していること。
- ・浴槽内への給湯時間を短縮するために、貯湯タンクを内蔵し、浴槽への給湯は電動ポンプを使用すること。
- ・タンクへの貯湯温度、タンク内温度、浴槽内温度、たし湯温度、シャワー温度のすべてがデジタル温度表示されること。
- ・タンクへの貯湯温度、タンク内温度、浴槽内温度、たし湯温度、シャワー温度のすべてにおいて、安全のための温度管理機能を有すること。

以上

